

子どもが主役の学びをつくる！



～そこに「学習問題」はあるのか？

「問題解決的な学び」があるのか？～



横浜市立箕輪小学校

大滝 文平

令和3年11月20日



時間割り (各10分程度)

11
月
20
日
土
曜
日
大
滝
文
平

- 夜の会 あいさつ 新聞係から 子どもが主役って
- 1時間目 学習問題～定義的なこと～
- 2時間目 単元構想～子どもの姿と指導要領～
- 中休み 取材に行こう！
- 3時間目 学習計画～導入！導入！導入！～
- 4時間目 問題解決的な姿とは
- 給食昼休み 正に業間タイム！
- 5時間目 ネタ的な手立てをいくつか紹介！
- 帰りの会 板書やノートから 子どもの姿
- 放課後 子どもの見取りからの「指導改善」・質問タイム



ごあいさつ

「これから 1時間目の

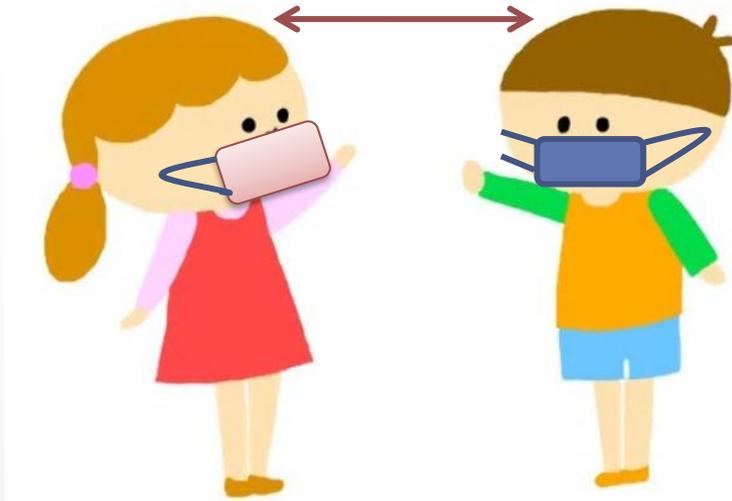
社会科の〇〇

をはじめます」



ごあいさつ

ありがとう 有り難う
さようなら 左様なら



ごあいさつ

「〇年〇組です

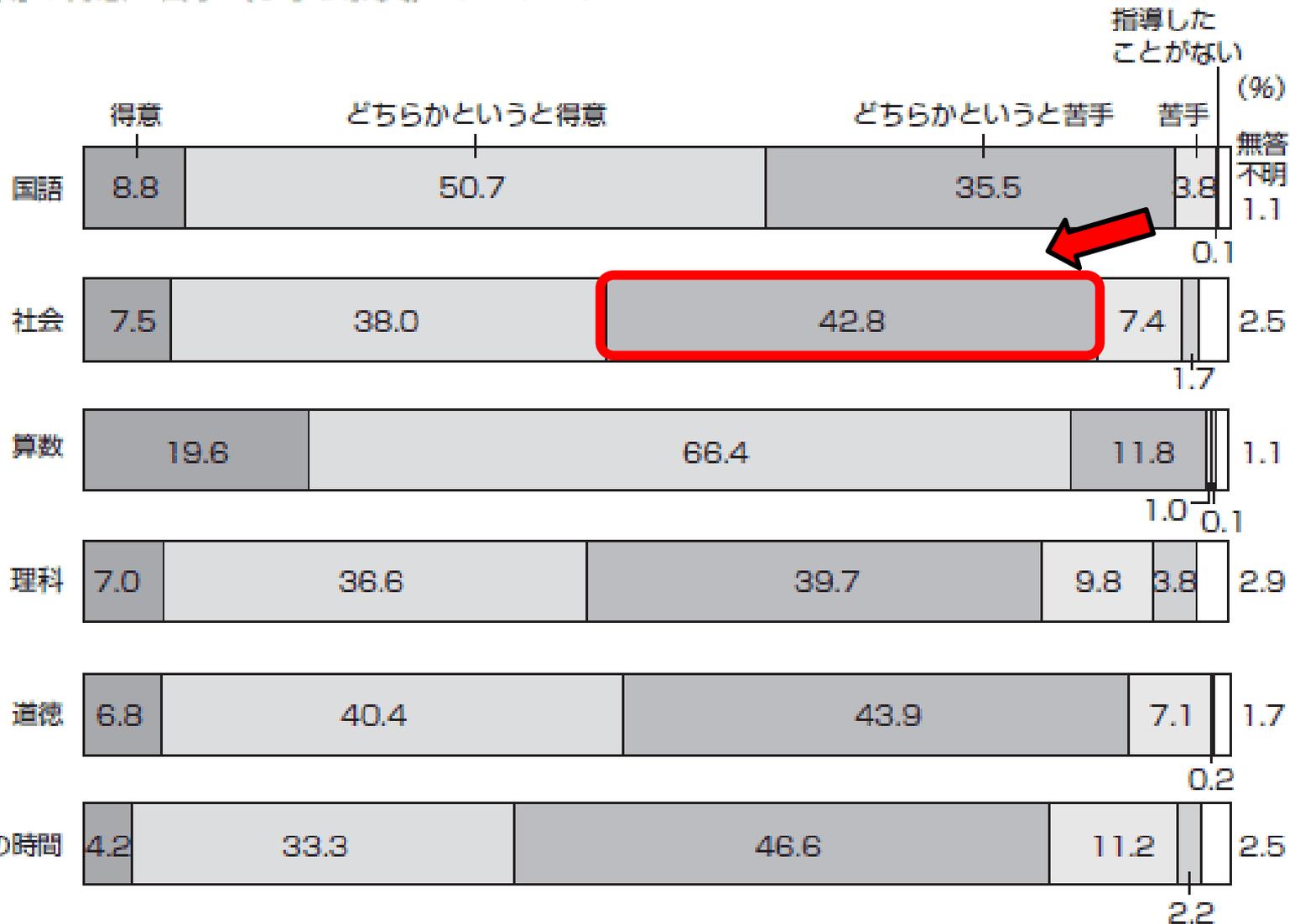
〇〇〇〇給食

いただきます」



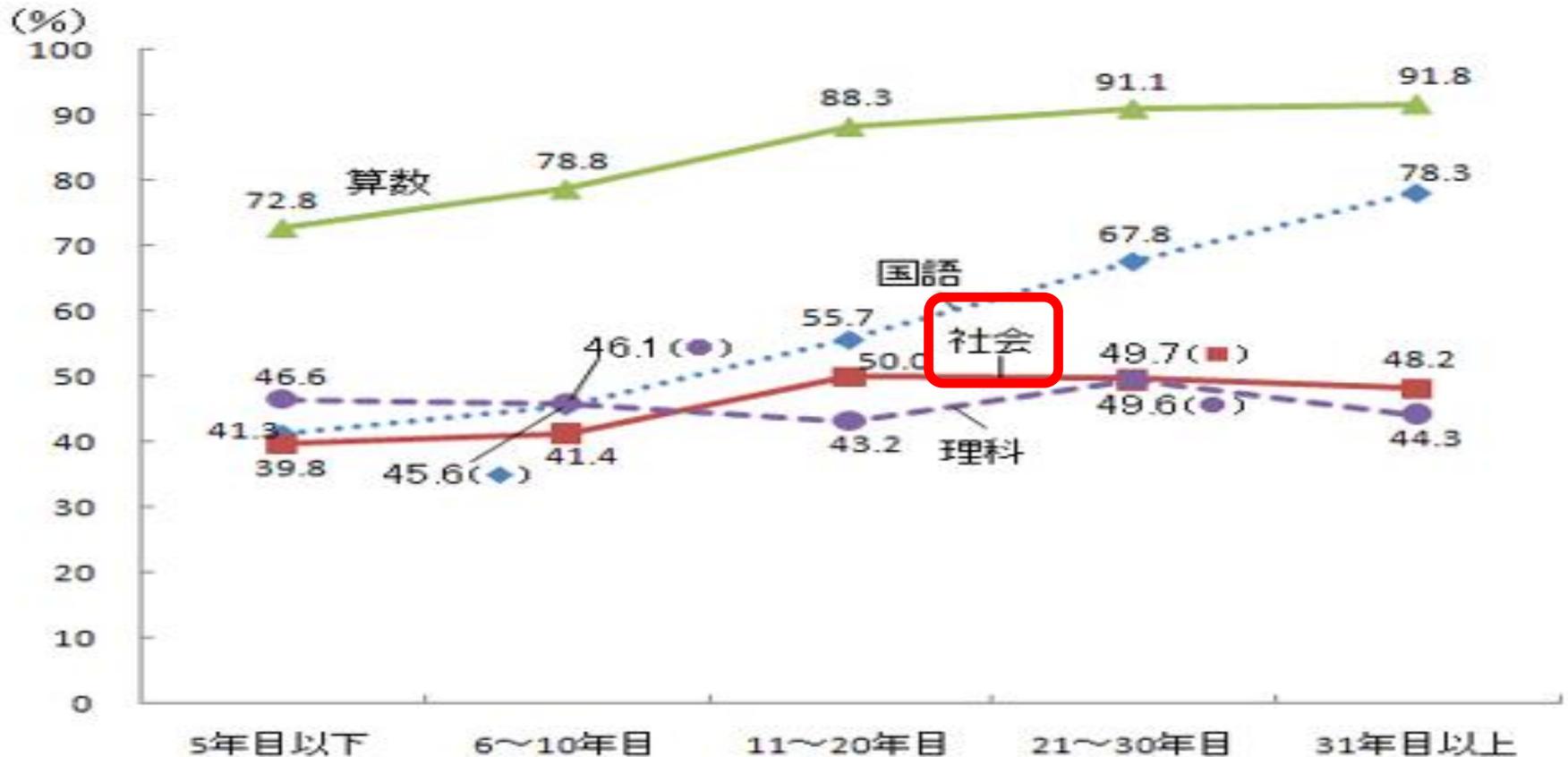
社会科の授業、率直に言って...

図9-1-1 指導の得意・苦手 (小学校教員) (n=1,872)



社会科の授業、率直に言って...

図：指導の得意・苦手



注) 数値は「得意」「どちらかというと得意」と回答した比率 (%)。経験年数により「指導していない」「無答不明」の比率が異なるため、これを除いて算出した。サンプルは、公立小学校教員 (1872名)。

出典：ベネッセ教育研究開発センター『[第4回学習指導基本調査](#)』

社会科の授業、率直に言って...

子どもだって・・・

社会科が好き！ から

「苦手」「どちらかというと...」

その分岐点は

5年生

なぜ？ どうして？



社会科の授業、率直に言って...

3年生...まちたんけん、地区センター見学、警察署、交番、消防署、町の火消し、スーパー、お店、まちの工場、農家など、放課後に行ってきたよ！

4年生...浄水場、環境事業局(清掃工場)、県や市の名所(宿泊行事など共に)

5年生...工場見学(要予約)、

6年生...国会(要予約)、歴史博物館(近くにあれば)

○小学校社会科における社会的事象

- ・位置や空間的な広がり
- ・時期や時間の経過
- ・事象や人々の相互関係

- ・「まち」から我が国へ
- ・時間軸
- ・人・もの・こととの関係

- ・聞いてきたよ！が難しくなる
- ・過去の想像は難しい！
- ・思考の整理が難しい！

子どもが主役の学びの姿

なぜ、「主体的に学習に取り組む態度」が評価項目に位置づいたのか。

なぜ、評価項目に位置づくほど、「主体性が」大事なのか。

考えたことありますか？

ご自身のお考えはいかがですか？



指導要領には

- 学習内容を人生や社会の在り方と結び付けて深く理解し
- これからの時代に求められる資質・能力を身に付け
- 生涯にわたって能動的に学び続けることができるため

肝心なものは、目には見えない



サン＝テグジュペリ著
「星の王子様より」

主体的な学びの姿

子どもの学びを見る視点(没頭化する子どもの姿)

	エンゲージメント状態	非エンゲージメント状態
行動	<ul style="list-style-type: none">・熱心に取り組む・専念する ・試行する・持続的に取り組む	<ul style="list-style-type: none">・あきらめる ・不参加・気乗りしない・落ち着きが無い
感情	<ul style="list-style-type: none">・興味を示している・充実感 ・楽しんでいる・生き生きしている	<ul style="list-style-type: none">・退屈している ・不満気・恥じている・不安を感じている
認知	<ul style="list-style-type: none">・目的を自覚 ・注意する・方略を吟味・チャレンジする・細部まで丁寧で几帳面	<ul style="list-style-type: none">・無目的 ・回避的・頭が働いていない・絶望している

授業研究を創る (2017年 鹿毛雅治)

主体的な学びの姿

切実性をとらえるメルクマール（指標）

- 強い興味、関心、願い、好奇心、不安、心配、怒りなどを抱いている。
- 興味、関心が持続するもの。持続していてさらに活動や学びが変化しているもの。
- 多くの子どもが積極的に多様に発言、行動している。
- 詳しくリアルに取り組んでいる。その体験を詳しく話せる。
- 自ら調べに行ったり、工夫したりする。
- 教師に抵抗する。はみ出す。
- 普段好きなものよりも優先する。※授業の延長を訴える。
- 協働する。一緒にやろうとする。※話し合い活動もその一つ。
- 真剣にぶつかり合う。意見の対立で騒然となる。
- 仲間を助ける。みんなで楽しむ。※代わって言う。かばう。
- 体験や具体的事実に基づき、自分の思いも出して子どもの言葉で話し合いが行われている。
- 授業そのものを楽しんでいる。※「もっと続けよう。」の言葉。

市川 博 著：「子どもの姿で探る問題解決学習の学力と授業」

大滝私案 ・沈黙する。※深い自問自答 ・表現に没頭する※文章・図

主体的な学びの姿

子どもが主語になるために、
ちょっとした日頃のふり返り「あるある」

○職員室にて

「へ～させる

※

**子どもが主語！
使役はNGワード**

○学年によりな

・「お子さん○○を持ててくれたこと。」